

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

2017年4月号

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第583号

時は過ぎた

2004年3月に関西セミナーハウスを退職し、早いもので13年も経った。現在、京都駅八条口から南に300メートルほど下がった所にある洛南教会教師をしている。退職した時は二度とアカデミーの働きはしないと書いたのであるが、春名康範氏が所長に就任したときから運営委員をしている。

今年、関西セミナーハウスは開所して50年に当たる。1963年頃から、現在の日本家屋を場所にして「はなしあい運動」を展開していくが、その当時の写真を見ると、能舞台を使って、草々期の運営委員が会議をするもの、草むらのなかで若い男女が仲良くダンスを楽しむ写真があり、当時のアカデミー運動の息吹を写し出している。日本の経済成長、更にはキリスト教宣教の進展のもとに、はなしあい運動も成長し、東京、京都、福岡、仙台、札幌とはなしあい運動は拡がりを見せる。それぞれの拠点には活動を担うグループが育ち進んでいくのである。1990年当時、私は岩手県水沢教会に赴任していたが、岩手県磐井郡東山町で、「農業ターゲング」という集会を開いていた。同志

社を出た三浦所太郎、菅原喜重郎、鈴木三治、戸枝義明らが中心となり、農業問題に取り組んでいた。

この「ターゲング」という名称に象徴されるように、はなしあい運動が展開される中で、大磯、京都、白老に、「ターゲング」施設が建設され、活動が展開されるのである。ただ、90年以降、教会の成長が伸び悩み、教勢が低下する

社会はターゲングを必要としている？



関西セミナーハウス活動センター運営委員

井上 勇一

中で、はなしあい運動も社会的な影響力を失っていくのである。50年という時の流れを振り返ると、「うねり」のような曲線を描いていることがわかる。そして今はそのようなうねりの部分であろうか。現場があった

洛南教会の60年代半ば頃の週報をみると、「職域伝道」という言葉がよく出てくる。同志社神学部の竹中正夫の名

していくが、それが90年代に入ると急速に冷え込んで、教会そのものが社会に対する影響力を失っていくのである。

アカデミー運動が大切にしてきたものに「啓発」と「連携」とがある。「ターゲング」というのはなしあいを通して、「個が啓発され」、「個が連携する現場」が開発されていく、言わばグラスルーツな社会改革を提唱することがアカデミー運動の活動である。80年代まではアカデミー運動は現場を視野に入れた活動がな

された。それが教会、教育、労働組合であったりと、当事者が現場と向き合って啓発されていったと言える。

アカデミー運動の開発

私は、「社会は教会を必要としている。」と受け止めている。これほどに閉塞感のある社会はないからである。社会全体が超高齢化し、経済も成長という言葉が失っているし、社会格差が拡がり、「子ども貧困」という言葉さえ生まれている。この社会にあつて「社会が教会を必要としている」のである。ただ、この時、「教会は何を社会に提示できるのか」それが何であるか、見いだせないでいるというのが「今の教会」である。

アカデミー運動が低迷している。それは「教会」と同じことが言えるのではないだろうか。私は「啓発と連携」という作業を根本からし始めることも必要と考えている。洛南教会は、ここで新しくなった。京都駅に近く、利便性に富んだ場所にある。小さな働きになると思うが、宣教の新たな活動を試みたいと同時にアカデミーのターゲングに沿うような活動もしていきたいと思っ

ている。(日本基督教団洛南教会牧師)

シリーズ名	回数	プログラム	予定
関東フォーラム 宗教対話 I	全7回	「日本キリスト教史を読む・明治編」新島襄、海老名弾正、植村正久、内村鑑三、柏木義円、新渡戸稲造 講師・戒能信生(千代田教会牧師)	第1回 6月8日(木) 第2回 7月13日(木) 第3回 8月10日(木) 第4回 9月14日(木) 第5回 10月12日(木) 第6回 11月9日(木) 第7回 12月14日(木)
関東フォーラム 宗教対話 II	全3回	これでもいいか日本の「キリスト教」向谷地宣明(ベテぶくろ代表)、長尾有起(北支区宣教師)、和田芳子(児童相談所所長)	第1回 9月16日(土) 第2回 11月18日(土) 第3回 1月20日(土)
関東フォーラム 宗教対話 III	全3回	「編集者から見た現代日本の知の状況」講師。中川和夫(ブネウマ舎)	第1回 7月7日(金) 第2回 未定 第3回 未定
関東フォーラム 宗教対話 IV	1回	柏木義円公開講演会「柏木義円と現代」講師・山口陽一(東京基督教大学教授)共催プログラム	11月18日(土)
関東フォーラム 宗教対話 V	全5回	体験プログラム 「礼拝のためのヴォイス・トレーニング」講師・友野富美子(元声優、高知放送「キリストへの時間」パーソナリティ 日本キリスト教団経堂緑岡教会担任教師)	第1回 6月5日(月) 第2回 6月12日(月) 第3回 6月19日(月) 第4回 6月26日(月) 第5回 7月3日(月)
研修・セミナー・体験交流事業			
聖書を読む講座I	全9回	いのちをかけてのメッセージ「イエスの譬え話」に聴く 山口里子(日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)	第1回 4月11日(火) 第2回 5月9日(火) 第3回 6月13日(火) 第4回 7月11日(火) 第5回 9月12日(火) 第6回 10月10日(火) 第7回 11月14日(火) 第8回 12月12日(火) 第9回 1月9日(火)
聖書を読む講座II	全5回	「上林牧師と旧約聖書を読む」講師・上林順一郎	第1回 6月9日(金) 第2回 7月14日(金) 第3回 9月8日(金) 第4回 10月13日(金) 第5回 11月10日(金)
神学生交流 プログラム		第9回神学生交流プログラム 校長 関田寛雄(教団巡回教師)、講師 浅見定雄(東北学院大学名誉教授)	2018年3月5日~7日

III 関西セミナーハウス活動センター事業計画

大国が自国の利益を主張して譲らず、平和、公正、共存などが軽視される時代を迎えている。そんな流れの中で、キリスト教精神に基き、正義、平和、いのちが尊ばれる社会の実現を目指し、様々な社会的課題について、根源的解決の道を探るはなしあいを進める。

1. 修学院フォーラム「社会」においては、昨年度から引き続いて「宗教と戦争」について考える。継続的テーマの「エネルギーを考える」の第6回では、「フクシマの問いにどう応えるか」を倫理的視点と技術的視点の双方から考える。SEALDsを担った若者と共に、いかにして民意を政治に反映させるかを考える。佐藤 優氏と共に、昨年度に続いてキリスト教は政治的課題にどう関わるかを考える。
2. 修学院フォーラム「福祉」においては、精神障がい者と共に生きること、子どもの虐待とどう向き合うかを考える。
3. 修学院フォーラム「いのち」においては、ピアノ演奏と語りを通して命の輝きを味わい、愛する者を喪失した時の哀しみにどう向き合うかを考える。

4. 開発教育セミナーにおいては、人権・平和・環境などの地球的課題を参加型学習で学び、私たちの社会のありようを考える。
5. これらに加え、今年2月に福者に認定された戦国のキリシタン武将高山右近の生と死について学び、お茶と俳句を楽しむつつ聖書の言葉を味わう会、紅葉の美しい季節に関西セミナーハウスの景観を背景に、お茶とお箏、器楽演奏を楽しむもみじまつりを催す。

シリーズ名	回数	プログラム	予定
修学院フォーラム 社会	第1回	宗教と戦争を考える：3 古代キリスト教と戦争 土井 健司(関西学院大学教授)	10月7日(土)
	第2回	宗教と戦争を考える：4 内村鑑三の戦争観 岩野 祐介(関西学院大学教授)	11月11日(土)
	第3回	社会的課題にどう向き合うか SEALDsからの問い(仮) 講師交渉中	12月2日(土) (予定)
	第4回	エネルギーを考える第6回 フクシマの問いかけにどう応えるか 倫理的視点から 島園 進(上智大学神学部教授・グリーンフ ケア研究所所長) 技術的視点から 吉岡 斉(九州大学教授、福島原発事故政 府事故調委員)	2018年1月7日(日) ~8日(月・祝)
修学院フォーラム 福祉	第1回	共に生きる地域社会づくり ~「からしだね」の実践からみる、精神 障がい者にとっての生きづらさ~ 坂岡 隆司(社会福祉法人ミッションから しだね理事長) 京都YWCAと共催	6月10日(土) 会場:京都YWCA
	第2回	子どもの虐待を考える(仮) 講師交渉中 京都YWCAと共催	2018年3月(予定) 会場:京都YWCA
修学院フォーラム いのち		企画 中	未定
研修・セミナー・体験交流事業			
開発教育セミナー	第1回	開発教育入門セミナー (協力プログラム) 主催: JICA 関西他	7月9日(日)
	第2回	ビジネスで持続可能な社会をつくる~イ ンドネシアのカカオとの出会いから 吉野 慶一(Dari K 株式会社代表取締役)	7月15日(土) ~16日(日)
	第3回	「考える」をファシリテートする~民主 主義を耕すために 森 秀樹(兵庫教育大学大学院教科教育実 践開発専攻教授)	9月9日(土) ~10日(日)
	第4回	日本は「死の商人」になるのか?~軍事 と民生の境界線 杉原浩司(武器輸出反対ネットワーク代表)	10月14日(土) ~15日(日)
	第5回	沖繩のまなざし、沖繩へのまなざし~メ ディアの報道と私たち 安田 浩一(ジャーナリスト)	11月18日(土) ~19日(日)
	第6回	もっと知りたいイスラーム~中東とヨー ロッパの「今」から学ぶ 内藤 正典(同志社大学大学院グローバル・ スタディーズ研究科教授)	12月9日(土) ~10日(日)

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー 2017年度事業計画

I 事業計画基本方針

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミーは、2017年度において、以下の基本方針を掲げ、事業を推進する。

1. 財団事業の展開

定款に定められた当財団の目的に沿って、キリスト教精神に基づき、立場の相違を越えた対話を通し、自由、平等、正義、平和に基づく社会の実現に寄与する事業を一層活発に展開する。

2. 事業の推進

1) 公益目的事業

(1) 東・西活動センター

- ①現在のフォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続、発展させる。
- ②参加者同士の対話中心の宿泊プログラムを拡充する。
- ③アカデミー運動の目的に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組む。
- ④得られた成果を機関紙による広報はもとより、広く社会に発信する。基幹プログラムの成果は出版物として発行などし、知の蓄積を行う。
- ⑤キリスト教精神に基づき、社会において未だ認知不十分な幅広い課題をプログラム化し、もってキリスト教系メディア、一般メディアの関心を高め、啓発活動を活発化する。

(2) 関西セミナーハウス

- ①当財団の事業展開の拠点として、公益目的事業でのさらなる活用をはかる。また、当財団の目的達成に資する諸団体が行う公益目的事業を支援するため、宿泊研修施設を諸団体、教育機関・学会・研究会活動等の広い使用に供する。
- ②リピーター利用者の丁寧なフォローおよび新規利用者の開拓などに取り組み、利用率の向上及び収支の改善を図る。
- ③効率的な運営をはかり、公益活動への貢献度を高める。

(3) 広報活動

フォーラム事業、研修・セミナー・体験交流事業等の内容並びに各年度事業計画・予算及び事業報告・決算を機関紙「はなしあい」において定期的に報告する。同時に、東・西活動センターおよび関西セミナーハウスの活動状況については、ホームページ等によって積極的な情報発信を継続する。

2) 収益事業

(1) 関西セミナーハウス

公益目的使用外の一般使用者、企業等へ宿泊研修施設の貸出しを行い、その収益の一部を公益活動に資する。

(2) 日本キリスト教会館

当財団所有の事務所用物件の一部を貸与し、その収益を公益活動に資する。

3. 運営推進体制の安定化

公益目的事業の運営推進に当たって、継続的な事業に関しては明確な方向性と予算計画を持ち、プログラム毎の収支の整合化を原則とする。新規プログラムについても、必要財源を確保し、活動の安定的展開を目指す。

4. 賛助会員、寄附金の拡充

公益事業、広報活動等を積極的に展開して、アカデミーの理念の理解、浸透につとめ、アカデミー運動を支えようとする賛助会員及び寄附金の拡充を図る。

II 関東活動センター2017年度事業計画

2016年度は、関東活動センター事務所や集會室のある日本キリスト教会館の耐震補強・改修工事が完了し、新たな思いで各プログラムを実施することができた。また事務局体制を整え、ボランティア・スタッフが毎週木曜日に事務所を開いて、『はなしあい』の発送作業や各プログラムの準備を整えることができるようになった。一方で、改修工事による各テナントの退去の後を埋めるために、新しいテナントとの契約交渉や改修工事などに追われた。また、会館6階の全フロアを、2017年10月から新たなテナントに貸し出すことになっており、そのために従来6階に設置されていた関東活動センターの事務局を一階に移転することや、新たに集會室をどのように確保するかの課題も残っている。そのような中で、日本クリスチャン・アカデミーの理念に基づき、以下のような諸プログラムを計画する。

- 1. 「今日的課題」Ⅰとして、「古典で読む20世紀」Ⅳを読書会スタイルで実施する。現代ではほとんど読まれなくなった先哲の古典的著作を読み直し、21世紀の現在の時点でその意義を再確認することを目的としている。
- 2. 「今日的課題」Ⅱは、現在の政治的状況を踏まえて、ポピュリズムに抗する道を探る学習会を企画している。
- 3. 「宗教対話」Ⅰとして、新企画「日本キリスト教史を読む」シリーズを開始する。これはこの国のキリスト教の歴史を、明治篇(第一世代)、大正編(第二世代)、昭和編(第三世代)に分けて、それぞれの時代に活躍したキリスト者の人物史を取り上げる。初年度は明治篇として6名の人物を取り上げ、そのそれぞれの時代のキリスト教の在り様を浮き彫りにする。
- 4. 「宗教対話」Ⅱ「これでいいのか日本のキリスト教」は、キリスト教会の枠を越えて様々な分野で活動している若き活動家たちを招き、現代社会への問題提起を聞き、共に考える企画である。また「宗教対話」Ⅲは、「編集者から見た現代日本の知の状況」を連続講座の形で、Ⅳは昨年に引き続き柏木義円の現代的意義を問う公開講演会を共催プログラムとして実施する。
- 5. 「宗教対話」Ⅴ体験プログラムとして、昨年に引き続き「礼拝のためのヴォイス・トレーニング」を実施する。礼拝の司式や聖書朗読、詩編交読、説教などの発声・発語訓練を行う。
- 6. 聖書を読むシリーズでは、入門的な聖書講座と、フェミニズムの立場からの聖書の読み直し、あるいは今日的視点からの聖書の読み方を探ることを目的としている。
- 7. 各神学校の枠を超えた神学生たちの交流を目的とした「神学生交流プログラム」については、2017年度は各神学校の賛助を得て、第9回プログラムを実施する。

シリーズ名	回数	プログラム	予定
関東フォーラム 今日の課題Ⅰ	全4回	古典で読む20世紀Ⅳ 武田利邦(農村伝道神学校講師)・李明夫(ルーテル三鷹教会牧師)	第1回 5月12日(金) 第2回 7月14日(金) 第3回 9月 8日(金) 第4回 11月10日(金)
関東フォーラム 今日の課題Ⅱ	1回	現在の政治を問う「ポピュリズムに抗して」講師・未定	7月15日(土)

お茶のこころと 宗教のこころ	I	戦国のキリシタン武将、高山右近の生と死 (仮) 川村 信三 (上智大学文学部史学科教授、イエズス会司祭)	9月9日(土)
	II 全10回	聖書をいっしょに読みましょう 榎本 栄次 (日本基督教団牧師、関西セミナーハウス活動センター所長)	4月~12月 (除く8月)毎月1回第1または第2木曜
もみじまつり		茶席、邦楽、美術展示、音楽演奏 関西セミナーハウスと共催	11月23日(木、祝)

IV 関西セミナーハウス事業計画

2017年度の関西セミナーハウス事業計画は、以下の通りである。

1. 運営方針

1) 公益目的事業の拡大

関西セミナーハウス活動センターや他の教育機関、学会、研究会、諸団体と連携し、その文化・教育・社会貢献活動への参画を拡大する。

2) 収益事業の展開

公益目的以外の一般利用者、企業等への宿泊及び研修施設の貸出を積極的に推進する。

3) 公益活動への貢献

2016年度に引き続き、公益財団法人の活動を支えるために一定額を設定し、財政的な貢献を担う。

4) 有形、無形財産の活用

茶室、能舞台、日本庭園などの京都らしい文化的設備が持つ特色を生かしつつ、利用者に満足をもたらす運営を行う。

5) 広報活動の強化

ホームページ、メールマガジン、ダイレクトメールなどを通じて、本施設を幅広く、継続的に広報する。

6) 利用者拡大の努力

広報活動のほか、人的活動を展開し、長年、本施設が支えられているコア利用者(大学、企業、キリスト教諸団体等)への丁寧なフォロー、新たな利用者の獲得に努力する。

7) 柔軟な料金体系の設定

適時、季節と繁忙を考慮した柔軟な料金体系を設定する。

8) 健全な収支の確保

利用者の拡大、諸費用の節減などに取り組み、収支のバランスを整え、事業の継続性を確かなものとする。

9) 施設の更新

施設改修に充てるための資金を可能な限り積立て、老朽化している施設の更新を行う。

2. 主な数値目標

1) 収入計画 (P&L ベース)

売上高 1億1,617万円
営業利益 △431万6,000円

2) 設備投資

年間総額 380万円
主な案件 未定

3) 宿泊者目標

上半期 4,800名 (前年度比92.3%)
下半期 4,200名 (前年度比93.3%)
年間 9,000名 (前年度比92.8%)

4) 年度期首要員 16名

収支予算書 (損益計算方式)

(2017年4月1日~2018年3月31日まで)

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,200	3,000	△1,800	
特定資産運用益	19,520	24,600	△5,080	
受取会費	1,502,000	1,481,000	21,000	
事業収益	134,662,382	129,696,740	4,965,642	
受取寄付金	3,520,500	4,315,100	△794,600	
雑収益	206,074	501,800	△295,726	
経常収益計	139,911,676	136,022,240	3,889,436	
(2) 経常費用				
事業費	144,138,464	143,082,965	1,055,499	
管理費	4,677,259	2,947,336	1,729,923	
経常費用計	148,815,723	146,030,301	2,785,422	
当期経常増減額	△8,904,047	△10,008,061	1,104,014	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△8,904,047	△10,008,061	1,104,014	

関西セミナーハウス活動センター

●2016年度 修学院フォーラム「社会」第4回

「エネルギーを考える」第5回

「フクシマに聴く—私たちはいずこへ—」

発題「原発核事故の時代をキリスト者として生きる」

会津放射能情報センター代表 片岡 輝美さん
「なぜ卒原発を滋賀県から提唱したのか」

「被害地元」知事の責任苦悩

びわこ成蹊スポーツ大学学長 前滋賀県知事 嘉田由紀子さん
2017年1月8日(日)〜9日(月、祝)



自分の利益を確保し、拡大するために他を損ねることを厭わない、と公言する指導者が喝采を浴びて登場し、それに迎合し、分け前にあずかるうとする人が絶えない中で、2017年は明けた。原発事故は、そうした流れの中で忘れ去られようとしている。6年前未曾有の福島原発事故により、10万人の人が住むところを追われ、未だに多



くの人が帰れる見込みもなく立ち尽くしている。その傷跡は未だ癒えず、その後遺症は深刻の度を深めるばかりである。それにも拘らずこの出来る事は、何もなかったかの如くに封印され、オリンピックのお祭り騒ぎにより上塗りされようとしている。福島原発事故とは何であったかを真摯に顧みることなしには、荒廃した殺伐とした社会を、次の世

代に受け継がせるしかないであろう。

クリスチャン・アカデミーは、重荷を負う人の傍らに立ち、希望を紡ぐことを旨とする。第5回目を迎えるこのフォーラムは、その旨を具体化する今年の仕事初めであった。

まず被災地に留まり、被災者と共に歩んでこられた片岡輝美さんに、福島原発事故がもたらしたものが何かを語って戴いた。「事故を起こした原子炉の廃炉作業と環境の放射能汚染を低減させる試みは、見るべき成果を挙げ得ず、汚染水と廃棄物だけが山のよう

に貯まり続けている。それにも拘わらず、国と福島県は、安全基準を甘くし、被災者への住宅支援を打ち切り、避難者を汚染地域へ返そうとしている。東京オリンピックまで

に事故を収束させるためである。その仕打ちは、チェルノブイリ事故被災者への旧ソ連の施策よりはるかに冷酷である。日本国憲法に保障された基本的人権は奪われたままである。祈りだけでは平和は作れない。されど祈りなしには平和が作れない」と話された。

はなしあいの時間には、福島から京都へ避難してきて6年になる菅野千景さんが、原発事故により突然一家の平安が破られ、不安の内に過ごすことを強いられ、政府から見捨てられてきた実情を語られた。

次いで原発が14基も立ち並ぶ若狭に隣接し、近畿の命の水源地である琵琶湖を擁する滋賀県の知事として、卒原発を訴えてこられた嘉田由紀子さんに、いかにして原発に依存しない社会を実現するかを語って戴いた。「若狭で原発事故が起これば、近畿1450万人の命が危機に晒される。地震多発地帯の日本で、原発事故をゼロにするのは無理である。節電・省エネルギーを促進し、再生可能エネルギーを増強すれば原発無しでもやっていける。京都府・関西広域連合と連携して卒原発を訴え、原子力政策への提言を共同発表した。地域のエネルギー政策を策定し、原発事故の際、実効性のある避難計画を立てることは不可能なことを示した。高浜原発の運転差し止め訴訟を応援し連転停止命令を勝ち取った。稼働

中の原発停止命令は初めてである。司法判断も、住民の声により変わる。忍耐強い市民運動が政治の流れを変える」と述べられた。

はなしあいの時間には、山本 茂氏が、高レベル放射性廃棄物の処理が、行き詰っている現状を説明された。

北海道や茨城、東京、横浜からの人も含めて、43名の人が集まり、1泊2日時間一杯講師を囲んで熱のこもった議論を展開した。参加者は、問題の重さを噛みしめ、どこに立ち、どこへ向けて歩むのかを問われつつ会場を後にした。

はなしあいの時間には、山本 茂氏が、高レベル放射性廃棄物の処理が、行き詰っている現状を説明された。



小山 稔・初美
 蔭山 淳
 勝村 弘也
 金山 顕子
 上條 美代子
 川北 かおり
 岸田 晃子
 北垣 宗治
 北風 照子
 喜多村 やよい
 木下 壽子
 木原 諄二
 黒田 睦子
 古賀 暢子
 小林 裕一
 斉藤 洋子
 酒井 哲雄
 酒井 涼子
 桜井 希
 佐々木 絃児
 佐藤 友紀
 佐野 千枝子
 茂 洋
 島田 誠一
 島田 誠一
 シュベネマン クラウス
 白方 誠彌
 新宗連大阪事務所
 生田 茂夫
 菅 恒敏
 鈴木 正穂
 關岡 一成
 高寺 幸子
 高橋 壮二
 高谷 泰市
 多木 秀雄
 竹中 百合子
 橘 俣子
 立石 昭三
 田中 潤治
 田中 常雄
 田辺 信子
 谷口 善志郎
 田沼 大典
 塚本 誠一
 椿本 博久
 手銭 秀夫
 土井 健司
 陶村 世佳子
 都木 かおり
 徳丸 延子
 殿村 元一
 友前 尚子
 鳥居 興彦
 鳥井 清司
 中上 卯一郎
 長塩 滋子
 中西 和樹
 中村 信博
 中山 晴美
 奈倉 道隆
 鳴海 信子

西岡 裕芳
 西脇 洗一
 早川 良彌
 比嘉 美智子
 東 千代
 日野 多栄子
 平野 正
 平林 喜博
 福留 順子
 福間 誠之
 藤井 伸枝
 藤倉 寿美子
 細井 敏子
 細田 和民
 間瀬 啓允
 松岡 蓉子
 松田 光代
 松本 正裕子
 真鍋 まり子
 丸山 三矢
 明 信彦
 棟方 ユキエ
 森口 克洋
 柳井 一朗
 柳井 繁彌
 柳原 清美
 山岡 義生
 山本 貴之
 吉中 直子
 葛原 茂樹
 宮田 満雄
 春名 康範
 小澤 妙子
 関西青年アシュラム
 公益財団法人京都YMCA
 メシアニックジャパン
 出版合同会社
 医療法人わたなべクリ
 ニック
 寄付金
 浅田 涼子
 石原 美生子
 伊藤 威知郎
 井上 明
 井上 勇一
 岩村 詢子
 宇井 裕美
 浦 晴子
 榎本 栄次
 大下 道
 川北 かおり
 喜多村 やよい
 君村 昌
 小久保 正
 小崎 真
 島田 恒
 杉 萬喜
 杉野 榮
 杉本 尚司
 竹川 満里子
 田野 直美

坪野 えり子
 土井 健司
 徳丸 延子
 鳥井 清司
 鳥井 操
 中村 信博
 根岸 宏邦
 林 律
 東 千代
 姫野 真知夫
 平林 喜博
 廣瀬 芳之
 藤井 伸枝
 松原 千里
 宮本 桂子
 棟方 信彦
 家形 日出
 柳井 一朗
 山岡 義生
 山本 公平
 山本 知恵
 山本 良昭
 渡辺 宏子
 NPO 法人沢内伯楽
 京都キリスト教協議会
 (KCC)
 修学院一日アシュラム
 桃山アシュラム
 在日大韓基督教京都教会
 ドイツ語プロテスタン
 ト教会神戸・大阪
 日本基督教団京都教会
 日本基督教団倉敷教会
 日本基督教団世光教会
 日本基督教団天満教会
 日本基督教団平安教会
 匿名
 クリスマス寄付金
 今井 奈都子
 魚木 アサ
 川北 かおり
 木下 壽子
 木原 諄二
 佐藤 全弘
 柴橋 美穂
 武田 正一
 橘 俣子
 手銭 秀夫
 徳丸 延子
 鳥井 清司
 内藤 弘子
 根岸 宏邦
 林 律
 東 千代
 松本 圭子
 家形 日出
 山岡 義生
 公益社団法人京都YMCA
 日本キリスト教会吉田
 教会
 日本基督教団宇治教会
 日本基督教団洛南教会

エネルギープログラム
 など寄付金
 井上 勇一
 児玉 富美子
 田中 義信
 川北 かおり
 佐藤 全弘
 鳥井 健二
 中島 健二
 高畑 恵子
 森田 喜之
 伊藤 正子
 樋口 洋子
 大谷 光真
 今井 奈都子
 山本 一成
 園田 毅
 小久保 正
 網野 俊賢
 谷村 禎一
 山本 茂
 千里山キリスト教会
 日本基督教団希望ヶ丘
 教会
 開発教育セミナー寄付金
 西上 壽一
 金山 顕子
 比嘉 美智子
 織田 雪江
 もみじまつり寄付金
 川北 かおり
 株式会社祇園辻利
 八田 尚嘉
 魚木 アサ
 長谷川 義紘
 八田 一郎
 高谷 泰市
 デロイトトーマツ税理
 士法人京都事務所
 山添 みどり
 株式会社柴橋商会京都支店
 喜多村 やよい
 安住 京子
 株式会社こころ
 株式会社三原工務店
 白子 宗令
 佐野 千枝子
 荒本 宗令
 鳥井 清司
 竹中 百合子
 中村泰洋園 中村 英明
 株式会社藤木工務店
 京都支店
 シュベネマン クラウス
 小林 哲夫
 大下 道
 社会福祉法人修光学園
 神崎 清一
 亀屋 良長
 北野 宗香

2016年度賛助会費・寄付金納入者ご芳名

2016年4月1日～2017年3月31日(順不同・敬称略)

ご支援に感謝申し上げます。

財団本部
 終身会員
 神保 正男
 神保 信子
 中井 博雅
 小久保 正
 野田 純一
 島田 恒
寄付金
 日本基督教団早稲田教会
 武藤 高司
関東活動センター
賛助会費
 市川 邦雄
 伊藤 博子
 犬飼 護郎
 太田 春夫
 大橋 祐治
 小原 武夫
 戒能 信生
 神谷 伊勢男
 郡山 千里
 古賀 博
 齋藤 宏
 島田 治夫
 清水 勝彦
 竹中 百合子
 只野 哲
 立原 敬一
 千葉 拓司
 椿 邦良
 手島 毅郎
 道正 洋三
 徳久 俊彦
 中井 博雅
 中富 穎隆
 西浦 昭英
 西川 嗣夫
 根津 建
 林 律
 平井 祐美子
 藤野 冷子
 母の会 真崎みよ子
 松井 直樹
 松浦 茂長
 松岡 俊彦
 武藤 陽一
 山根 誠之
 横野 朝彦
 吉田 博
 吉田 豊
 ランデス ハル
 早稲田奉仕園
 渡辺 真知子
 星野 宗吾
寄付金
 石山 聆子
 伊与田 ユキ子

加藤 真規子
 北原 和夫
 小久保 正
 小林 誠治
 小林 義彦
 坂口 みどり
 戦争をゆるさない東京
 キリスト者の会
 曾 平統
 高橋 浩
 高畑 昭久
 椿 邦良
 日本聖書神学校学生自
 治会
 日本聖書神学校自治会
 服部 千賀子
 林 律
 日本基督教団番町教会
 村瀬 敬子
 森野 善右衛門
 吉見 崇一
 クリスマス寄付金
 飯田 庸子
 市川三本松教会
 上原 秀樹
 小原 武夫
 恵泉女学園中高・宗教部
 在日本韓国YMCA
 島田 恒
 鈴木 伶子
 曾 平統
 立石 昭三
 立原 敬一
 千葉 拓司
 藤 知佳
 中井 博雅
 中富 穎隆
 萩原 好子
 坂 敬夫
 松浦 茂長
 松本 誠
 日本基督教団経堂緑岡
 教会
 宮本 旻祐
 谷津 槇子
 吉崎 聆子
神学生交流プログラム
 荒井 献
 井口 拓人
 石田 学
 石山 聆子
 市川 邦雄
 浦上 充
 大橋 祐治
 戒能 信生
 日本基督教団鹿兒島加
 治屋町教会
 加藤 真規子

川北 かおり
 関西学院大学神学部後
 援会
 古賀 博
 齋藤 宏
 佐藤 恵理子
 島田 恒
 島田 治夫
 神保 正男
 日本基督教団須賀川教会
 聖公会神学院
 西南学院
 関田 寛雄
 高德 芳忠
 竹中 百合子
 立石 昭三
 島田 治夫
 千葉 拓司
 日本基督教団千代田教会
 椿 邦良
 手銭 秀夫
 同志社大学神学部
 刈谷 悦夫
 中井 博雅
 日本基督教団長岡京教会
 日本聖書神学校
 根津 建
 農村伝道神学校
 萩原 好子
 橋口 仁
 服部 千賀子
 福田 弘二
 藤倉 寿美子
 松下 起子
 松原 千里
 宮本 旻祐
 柳下 明子
 横野 朝彦
 吉崎 聆子
 吉田 豊
 日本基督教団早稲田教会
 早稲田奉仕園
関西セミナーハウス
寄付金
 アイボディージャパン
 片桐 ユズル
 秋元 幸雄
 飯島 隆輔
 上野 茂雄
 牛尾 宣夫
 大原 松雄
 岡本 仁彦・泰子
 奥田 正義
 菊岡 克彦
 京都音楽教育の会
 株式会社京都スタッフ
 小久保 正
 ジ・エアーズ 菅原直人

株式会社柴橋商会京都
 支店
 島田 恒
 修学院一日アシラム
 首藤 達雄
 株式会社新経営サービス
 盛京会
 武田薬品京都農園親睦
 会 えんじゅ会
 津田 友一
 TMI 総合法律事務所
 中井 博雅
 中村 信博
 中村泰洋園
 野嶋 和雄
 長谷川 義紘
 初田 勝
 林 宗一郎
 株式会社ビーテック
 廣田 吉久
 武藤 高司
 森口 維邦子
 森口 克洋
 柳井 繁彌
 山内 博
 山崎 満
 山本 一成
 ワケンホールディング
 ス株式会社
**関西セミナーハウス活
 動センター**
賛助会費
 相浦 和生
 浅川 具美
 浅田 涼子
 阿部 志郎
 網野 俊賢
 飯田 ふみ子
 五十嵐 万里子
 糸原 良禎・由美子
 井上 勇一
 岩坂 二規・泰子
 岩崎 裕保
 禹 濟泰
 宇井 裕美
 植村 敏子
 魚木 アサ
 宇野 稔
 梅山 猛
 榎本 璋子
 榎本 栄次
 大島 順子
 大下 道
 大谷 光真
 岡野 彩子
 岡安 茂祐
 岡山 孝太郎
 織田 雪江

プログラム案内

◆**関東活動センター**

■**聖書を読む講座 I**

「いのちをかけてのメッセージ『イエスの譬え話』に聴く」(全 9 回)

講師：山口里子さん (日本フェミニスト神学・宣教センター 共同ディレクター)

日 時：2017 年 4 月～2018 年 1 月

東 西 南 北

◎**財団本部**

奥田 豊、事務局長補佐、4 月 1 日付で着任しました。

◎**関西セミナーハウス**

シュベネマン クラウス、館長、3 月 31 日付で退任しました。久保田展史、館長、4 月 1 日付で就任しました。

中上 卯一郎さん (旧職員)

2017 年 1 月 10 日、逝去されました。91 才。関西セミナーハウス初期から 20 年余り、退職後は箱根セミナーハウスでも食堂でご尽力くださいました。

中井 博義さん (旧職員)

2017 年 3 月 4 日、逝去されました。73 才。関西セミナーハウスの人と自然に惜しみないお働きを頂きました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

(8 月除く)第 2 火曜
18:30～20:00
②5 月 9 日、③6 月 13 日

会 場：早稲田奉仕園スコットホール
参加費：1,200 円/学生 500 円
テキスト：『イエスの譬え話 2』新教出版社

共 催：早稲田奉仕園

■**2017 年度関東フォーラム 宗教対話 V**
礼拝のためのボイストレーニング (全 5 回)

講師：友野 富美子さん (元声優、高知放送「キリストへの時間」パーソナリティ 日本キリスト教団経堂緑岡教会 担任教師)

日 時：6 月 5 日～7 月 3 日 月曜
15:00～17:00

会 場：日本聖書神学校
参加費：1,000 円

◆**関西セミナーハウス**

■**月釜 清心会**

日 時：2017 年 5 月 14 日 (日)、6 月 18 日 (日)
9:00～15:00 受付 (1、8 月を除く年 10 回)

於：関西セミナーハウス

年会費：5,000 円、臨時会費 1,000 円

◆**関西セミナーハウス活動センター**

■**2017 年度お茶のこころと宗教のこころ II**
「聖書をいっしょに読みましょう」

(全 8 回)

座 長：榎本 栄次さん (日本基督教団牧師)

日 時：2017 年 4 月～12 月 (8 月除く) 第 1 または第 2 木曜
13:30～16:30

②5 月 11 日、③6 月 1 日

会 場：関西セミナーハウス

参加費：1 回 1,500 円 学生 500 円 (抹茶含む)
定員 20 名

■**2017 年度修学院フォーラム「福祉」**
第 1 回「共に生きる地域社会づくり～「からしだね」の実践からみる、精神障がい者にとっての生きづらさ～」

講師：坂岡 隆司さん (社会福祉法人ミッションからしだね 理事長)

日 時：2017 年 6 月 10 日 (土)
13:30～17:30

会 場：京都 YWCA

参加費：一般 1,500 円、学生 500 円

共 催：京都 YWCA

関西セミナーハウスでは、大会議室で使用するグランドピアノを求めています。お心当たりの方は、ご一報下されば幸いです。



TEL 075-711-2115

財団本部

<http://www.academy-nippon.com>

関東活動センター

<http://www.academy-tokyo.com>

関西セミナーハウス

<http://www.kansai-seminarhouse.com/>

関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 **日本キリストチャン・アカデミー**
代表理事 小久保 正

本部事務局

〒 606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館 6 F
TEL 03-3207-6198
E-mail: info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス /

関西セミナーハウス活動センター

〒 606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115
E-mail: info@kansai-seminarhouse.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117
E-mail: office@academy-kansai.org

《新刊紹介》

『原子力発電と日本社会の岐路』

聖書と共に考える混成型共生社会と脱原発』

日本キリストチャンアカデミー編

姜尚中 + 上山 修平 著

1,500 円 (税別) 新教出版社刊

関西セミナーハウス活動センターで、2012 年から開催している修学院フォーラム「エネルギーを考える」の第 2 回 (2014 年 1 月) の記録集が出版されました。

* 購入ご希望の方には、送料当方負担でお送りします。関西セミナーハウス活動センターまでお申し込みください。



賛助会費・寄付金報告

2017 年 2 月 1 日～2 月 28 日

(順不同・敬称略)

◆**財団本部**

寄付金

日本基督教団早稲田教会 25,000

◆**関東活動センター**

賛助会費

早稲田奉仕園 300,000

吉田 豊 3,000

神学生交流プログラム寄付金

日本聖書神学校 30,000

島田 治夫 3,000

◆**関西セミナーハウス活動センター**

賛助会費

宇井 裕美 2,000

田中 潤治 5,000

寄付金 (クリスマス寄付金を含む)

柳井 一郎 5,000

日本基督教団洛南教会 5,000

日本基督教団天満教会 10,000

石原 美生子 5,000

宇井 裕美 3,000

日本基督教団平安教会 5,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。